

平成 28 年度使用済製品等のリユース促進事業 事業概要

使用済製品等の 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）のうち、リサイクルについては、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律や特定家庭用機器再商品化法などの各種リサイクル法の制定等を通じて、一定程度進展しつつある（循環利用量は、平成 12 年度の約 2 億トンから、平成 24 年度には約 2 億 5 千万トンまで増加）。その一方で、循環型社会形成推進基本法（平成 12 年法律第 110 号）において、リサイクルよりも優先順位が高いとされている発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）については、その進展について十分に明らかになっていない。

平成 25 年 5 月に閣議決定された第三次循環型社会推進基本計画においても、リサイクルより優先順位の高い 2 R（リデュース・リユース）の取組がより進む社会経済システムの構築が必要とされており、特に、リユースについては主要な循環産業の一つとして位置づけ、リユース品が広く活用されるとともに、リユースに係る健全なビジネス市場の形成につながるよう取組を進めていくことが求められている。

上記の趣旨を踏まえて、平成 28 年度は下記の事業を実施した¹。

（1）リユース業界の信頼性維持・向上のための取組の整理（資料 3）

利用者が安心してリユース市場を活用できるための環境整備が必要であり、リユース業界団体または各企業が安心して利用してもらえるよう様々な取り組みを進めてきたところであるが、リユースが事業として長期的に継続・発展させるためには更なる信頼性の維持・向上が必要と考えられる。過去の研究会、ヒアリング、インターネット上の情報等を元に、信頼性の維持・向上に向けた各団体・企業の取組を整理する。

（2）我が国におけるリユースの現状と今後の方向性の検討（資料 5）

平成 30 年春に予定されている「第四次循環型社会形成推進基本計画」の策定に向け、第三次循環計画策定（平成 25 年 5 月）以降のリユース関連政策の進捗と課題について整理、リユース政策の今後の方向性（たたき台）を検討する。

（3）リユースの普及啓発に係るイベントの開催（次ページ以降の別紙）

リユースの推進とリユースに関する認知度向上のため、環境省とリユースに関連する団体や企業が連携して実施するリユースの普及促進を図るイベント「みんなリユースしてるってよ！」を平成 29 年 2 月 12 日（日）に開催した。

¹ 本研究会での検討対象外であるが、違法な廃棄物回収業者対策を促進する観点から、自治体職員向けに違法な廃棄物回収業者の指導・取締に関する知識及び技能向上のためのセミナーを 3 回（東京、名古屋、岡山）、違法と疑われる廃棄物回収業者の指導・取締の強化に関する関係者連携モデル事業を埼玉県・春日部市などと実施した。

環境省主催リユース普及イベント 「みんなリユースしてるってよ！」開催報告

1. 開催概要

「リユース」の普及を推進するイベント「みんなリユースしてるってよ！」を平成29年2月12日（日）に横浜市内で開催した。

本イベントでは環境省とリユースに関連する団体や企業が連携して実施するリユースの普及促進を図る目的のもと、団体や企業がPRブースを出展、パンフレットや商品展示を行うほか、イベントステージでは、タレント「はな」さんが出演するリユーストークショー、3Rをテーマに活動するアイドルグループの演奏や、若手お笑い芸人によるリユースをネタにしたお笑いライブを行った。

また、本年度びんリユースシステム構築に向けた実証事業のモデル事業である「びんリユースシステム横浜モデル構想（実施主体：横浜市資源リサイクル事業協働組合）において開発した新たなリユースびん入り飲料を発表、同飲料の試飲を来場者に向けて行った。

件名：リユース普及イベント「みんなリユースしてるってよ！」

日時：平成29年2月12日（日）11時～15時35分

場所：クイーンズスクエア横浜1階イベントスペース「クイーンズサークル」

（神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3）

主催：環境省

協力：一般社団法人 日本リユース機構、横浜市資源リサイクル事業協働組合、一般社団法人 情報機器リユース・リサイクル協会、株式会社 アンカーネットワークサービス、株式会社 メディエーター

来場者数：約1,200人（延べ）

2. 実施内容

2.1 ステージでのリユース情報発信の取り組み

会場内に設置したステージにおいて、本年度環境省びんリユースシステム構築に向けた実証事業のモデル事業「びんリユースシステム横浜モデル構想（以下、横浜リユースびんプロジェクト）」にて開発した新たなリユースびん入り飲料を発表した。また芸能事務所「人力舎」所属のお笑い芸人5組によるリユースをネタにしたお笑いライブ、3Rをテーマにして活動するアイドルグループに環境省が3Rの普及を目的に制作した循環型社会推進応援ソング（曲名：巡り循環の環の中に）を演奏、加えて本イベントに協力いただいた「一般社団法人日本リユース機構」、「一般社団法人情報機器リユース・リサイクル協会」、「株式会社アンカーネットワークサービス」、「株式会社メディエーター」から事業説明やリユースについて考えを表明していただいた。

(1) 横浜リユースびんプロジェクトによる発表（12時30分～13時45分）

2月13日（月）から横浜市内で試験販売される新たなリユースびん入り飲料を発表するととも

に本イベント限定のリユースびん入り飲料（合計 300 本）を来場者に試飲してもらった。

また佐々木さやか参議院議員、タレント「はな」さん（横浜出身）を交えてびんリユースに関するトークショーを行い、情報発信を行った。

発表したリユースびん入り飲料

- ・ 横浜ラガー（中身：ビール）
- ・ オリツルサイダー
- ・ ほうじ茶（試飲会限定）
- ・ 小松菜ジュース（試飲会限定）
- ・ ゆずサイダー（試飲会限定）

登壇者

- ・ 佐々木 さやか参議院議員 スペシャルゲストとして登壇
- ・ タレント はなさん
- ・ 横浜市資源リサイクル事業協働組合 びん委員会委員長 寺西 浩さん
- ・ office CWs 代表 堀越 敏晴さん（デザイン制作）
- ・ 株式会社 よこはまグリーンピース 代表取締役 椿 直樹さん（中身提供）

横浜リユースびんプロジェクト関係者

<びんリユースシステム横浜モデル構想（横浜リユースびんプロジェクト）>の概要
横浜リユースびんプロジェクトは環境省「平成 28 年度びんリユースシステム構築に向けた実証事業」のモデル事業として採択され、横浜市資源リサイクル事業協同組合を中心として実施する取り組みであり、新たなリユースびんを開発するするとともに環境省、横浜市、中身充填事業者等関連企業・団体と連携をとりながら神奈川県内におけるびんリユースシステムの構築を図るもの。

(2) お笑い芸人によるライブ

（11 時 5 分～12 時 10 分、14 時 10 分～15 時 15 分）

芸能事務所「人力舎」所属のお笑い芸人による、リユースをネタしたお笑いライブを実施した。登壇するお笑い芸人には事前に環境省「平成 27 年度使用済製品等リユース促進事業」で作成した「リユース読本」をデータ配布し、漫才やコントにリユースを織り交ぜ、リユースを新しい角度から来場者に向けて発信した。

出演者は「魂ず」「ダトウキョク」「アナクロニスティック」「地球」「リニア」の 5 組で 2 回の公演に出演した。

(3) アイドルグループによるライブステージ

（12 時 15 分～12 時 30 分、13 時 50 分～14 時 5 分、15 時 20 分～15 時 35 分）

3 R をテーマにして活動するアイドルグループに環境省が 3 R の普及を目的に制作した循環型社会推進応援ソング（曲名：巡り循環った環の中に）を演奏してもらい、来場者へ 3 R の重要性

を発信した。

出演者は「東京 CLEAR'S」が1回目、3回目の公演、「横浜 CLEAR'S」が2回目、3回目の公演にそれぞれ出演した。

2.2 ブース出展でのリユース情報発信の取り組み

リユースに関連する団体や企業がパンフレットや商品展示、体験を通し来場者に向けてリユースに関する情報を発信し、その理解向上を図った。

展示ブースは下記3団体・2企業の協力を得て開催をした。

《出展団体・企業と内容》

一般社団法人日本リユース機構

(リユース商品の「安全・安心」の取り組みを紹介。)

横浜市資源リサイクル事業協同組合(横浜リユースびんプロジェクト)

(リユースびんとワンウェイびんの違いを当てるクイズを実施、リユースびんの特徴を紹介。)

一般社団法人情報機器リユース・リサイクル協会

(情報機器内における個人情報等データの消去方法や使用済電気製品に含まれる希少金属のリサイクルを紹介。)

株式会社アンカーネットワークサービス

(リユースパソコンを寄付する社会貢献活動やリサイクル技術の紹介、携帯電話の解体体験コーナーを実施。)

株式会社メディエーター

(自社が事業展開中の「パソコン市場(いちば)」で販売しているリユースパソコンを紹介。)

2.3 来場数(詳細)

当日は延べ約1,200人の来場があった。

内訳は、ステージ観覧人数が約800人(横浜リユースびんプロジェクトによる発表:約150人、お笑い芸人によるライブ:2回のステージで約230人、アイドルグループによるライブステージ:3回のステージで約420人)、ブース来場人数が約100名、試飲会への参加人数が約300名の来場があった。

3. 当日の様子

(1) 会場全体の様子



ステージ及び観覧席



来場者の様子

(2) 横浜リユースびんプロジェクトによる発表



リユースびん入り飲料の発表



はな氏を交えたトークショー



試飲会に提供するリユースびん入り飲料（左より、ほうじ茶、ゆずサイダー、オリーブサイダー、小松菜ジュース）



試飲会の様子

(3) お笑い芸人によるライブ



「地球」によるお笑いライブ



「リニア」によるお笑いライブ

(4) アイドルグループによるライブステージ



「東京 CLEAR'S」, 「横浜 CLEAR'S」によるライブステージ

(5) ブース出展の様子



ブース出展の様子



一般社団法人 日本リユース機構



横浜市資源リサイクル事業協同組合



一般社団法人 情報機器リユース・リサイクル協会



株式会社 メディエーター



株式会社 アンカーネットワークサービス

4. 広報等の実績

本イベント開催にあたり、環境省による報道発表及びメディア媒体への情報提供を行った。メディア媒体への情報提供では、別紙の通り資料を作成した。

4.1 イベント開催前

ラジオが1番組、新聞は2社、Webでは15のサイトで紹介された。

媒体区分	媒体名	紹介日
ラジオ	F M横浜 Lovely Day♡～hana 金～	2月10日(金)10時～12時
新聞	朝日新聞地方版	2月10日(金)
	神奈川新聞	2月10日(金)
Web サイト	ECI ネット	2月2日(木)
	エコナビ	2月2日(木)
	朝日新聞デジタル	2月3日(金)
	Yahoo 口コミ	2月3日(金)
	Walker Plus	2月3日(金)
	ハマイベ	2月3日(金)
	るるぶ.com	2月3日(金)
	BIGLOBE 旅行	2月3日(金)
	おでかけ旅ガイド	2月3日(金)
	ことさが	2月3日(金)
	ゆこゆこ	2月3日(金)
	スポットサーチ	2月3日(金)
	ZAQ おでかけガイド	2月4日(土)
	RECYCLE HUB	2月6日(月)
	スマイリーマム	2月7日(火)

4.2 イベント開催後

テレビが1番組、Webでは4つのサイトで紹介された。

媒体区分	媒体名	紹介日
テレビ	ジェイコム横浜「デイリーニュース横浜」	2月17日(金)
Web サイト	はまこれ横浜	2月12日(日)
	東京散歩ぼ	2月14日(火)
	タウンニュース	2月15日(水)
	リターナブルびんポータルサイト	2月17日(金)

5 . 来場者アンケート集計結果

5.1 来場者アンケートの概要

平成 29 年 2 月 12 日（日）に開催された、環境省主催のリユース普及イベント「みんなリユースしてるってよ！」においてアンケート調査を実施、来場者へのリユースに関する情報発信及び認知度等を把握した。

本イベントに来場され、ステージを観覧した方、ブースを立ち寄った方に対して、アンケート調査への協力を依頼した。アンケート調査票は説明員が手渡しし、必要に応じて設問内容の補足説明等を行いながら回答していただき、計 79 人から回答を得た。

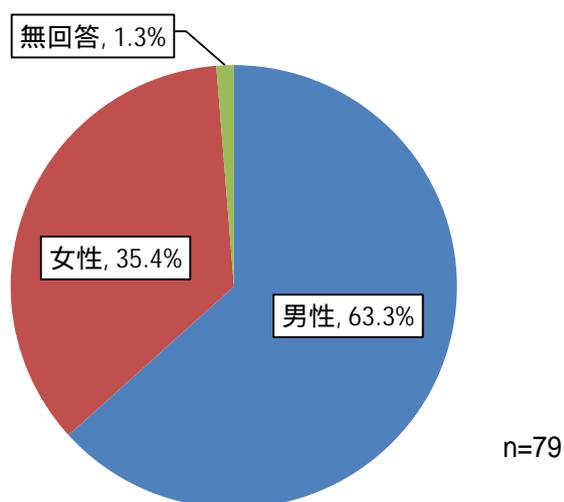
5.2 アンケート結果概要

（1）回答者の属性（性別年代）

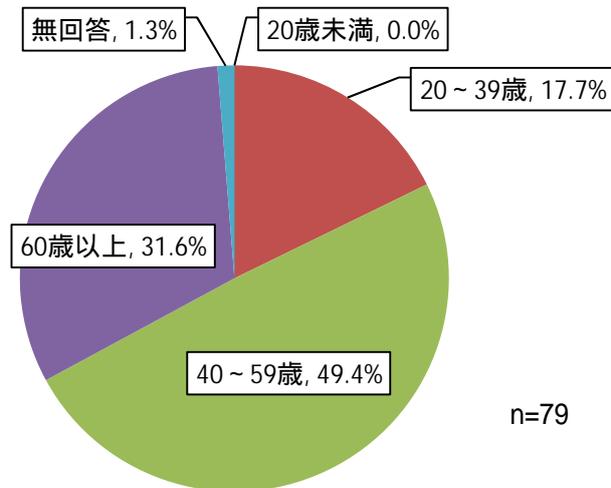
回答者の性別を見ると、男性が 63.3%（50 件）女性が 35.4%（28 件）、無回答 1.3%（1 件）であった。

また、年代を見ると、40～59 歳が最も多く 49.4%（39 件）、次いで 60 歳以上で 31.6%（25 件）であった。20 歳未満の回答者はいない。

図表 1 回答者の性別



図表 2 回答者の年代

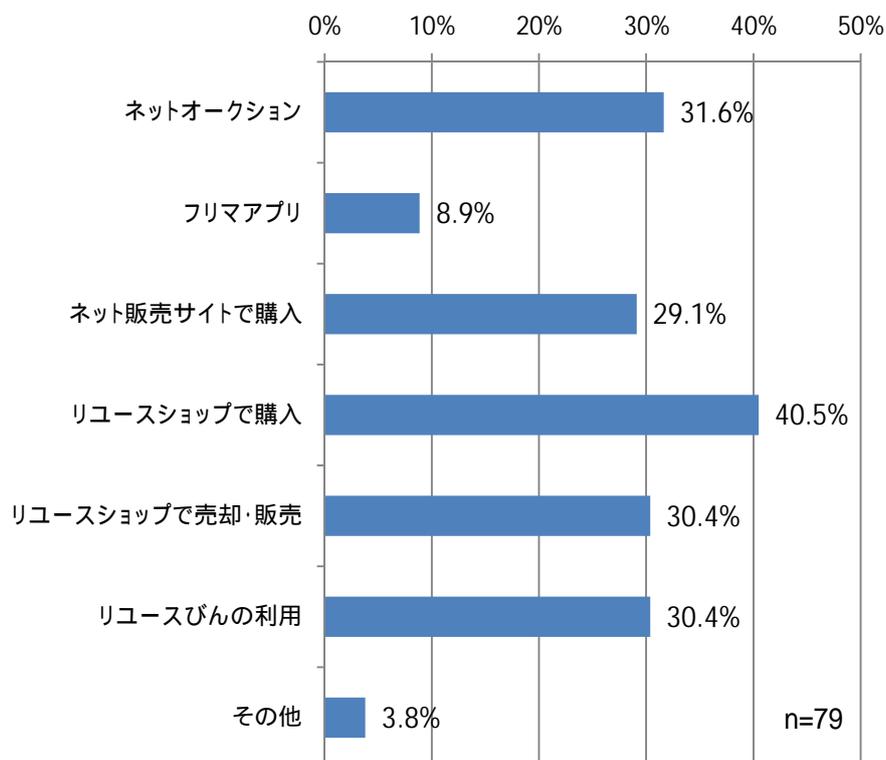


(2) リユースの取組状況について

問1 . あなたは、普段からリユースをしていますか？下記の項目でやったことがある、または利用したことがあるものを教えてください。

普段のリユースの取組状況については、「リユースショップで購入」という回答が最も多く40.5% (32件) 次いで、「ネットオークション」で31.6% (25件) となっている。ネットオークションが3割以上であったのに対して、最近登場したフリマアプリの利用は、1割未満(8.9%(7件))となっている。

図表 3 リユースの取り組み状況 (複数回答)

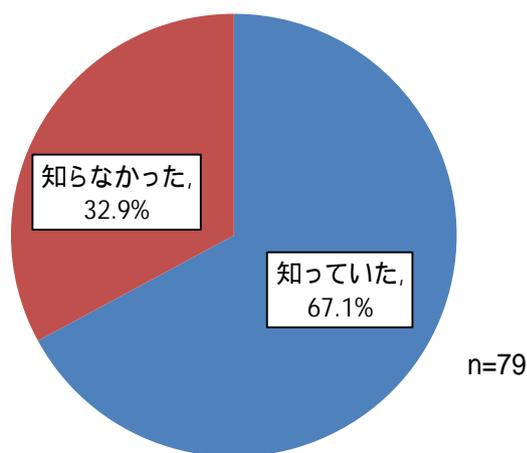


(3) リユースの認知度（環境保全上の効果）

問2. 「問1」で回答いただいた事項は、すべて「リユース」という取組です。リユースとは、リサイクルとは異なり、その製品をそのまま再利用（リユース）することでごみの量を減らしCO₂（二酸化炭素）を削減することに繋がる取組みです。このことを知っていましたか？

リユースの環境保全（ごみ減量、CO₂削減）に関する認知度については、「知っていた」という回答が67.1%（53件）、「知らなかった」という回答が32.9%（26件）となっている。

図表4 リユースの認知度（環境保全上の効果）

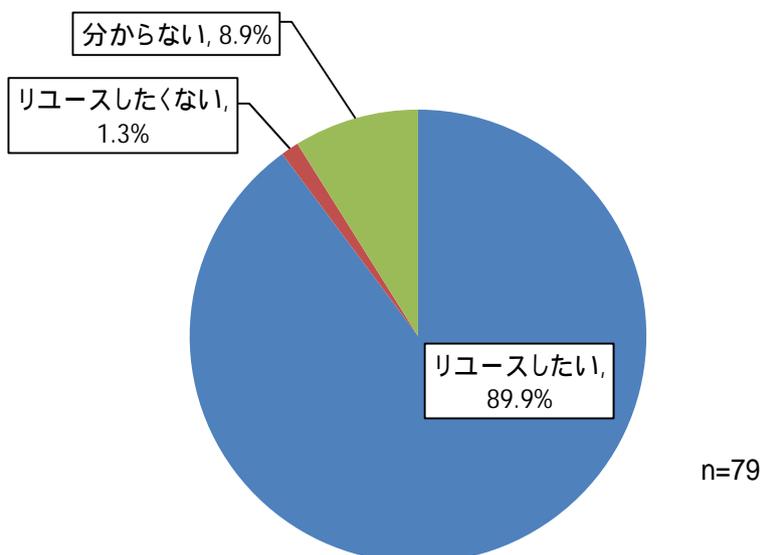


(4) リユースの取組意向

問3. 今後、リユースの取組（例えば、設問1で挙げた取組）をしたいと思いませんか。

今後のリユースの取組意向について、「リユースしたい」という回答が89.9%（71件）と9割近くとなっている。それに対して、「リユースしたくない」は、1.3%（1件）にとどまる。なお、現時点で「わからない」と回答した人は、8.9%（7件）であった。

図表5 リユースの取組意向



環境省「みんなリユースしてるってよ！」アンケートご協力をお願い

平成 29 年 2 月 12 日

この度は、環境省「みんなリユースしてるってよ！」にご来場下さり、誠にありがとうございました。今後のリユース普及に向けて、アンケートにご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

問 1 あなたは、普段からリユースをしていますか？下記の項目でやったことがある、または利用したことがあるものを教えてください。(当てはまるものすべてに)

- 1 . ネットオークションを利用する (例 : ヤフオク ! で売り買いするなど)
- 2 . フリマアプリの利用 (例 : メルカリで売り買いするなど)
- 3 . 中古品をインターネット販売サイトで購入 (例 : Amazonマーケットプレイスなど)
- 4 . 中古品をリユースショップで購入 (古本、古着、中古家具、中古電化製品など)
- 5 . 使わなくなった製品をリユースショップで売却・販売
- 6 . 一升びん、ビールびんなど繰り返し使われるびんを積極的に利用している。
- 7 . その他()

問 2 「問 1」で回答いただいた事項は、すべて「リユース」という取組です。リユースとは、リサイクルとは異なり、その製品をそのまま再利用 (リユース) することでごみの量を減らし CO (二酸化炭素) を削減することに繋がる取組みです。

このことを知っていましたか？ (当てはまるもの一つに)

- 1 . 知っていた
- 2 . 知らなかった

問 3 今後、リユースの取組 (例えば、設問 1 で挙げた取組) をしたいと思いますか。(当てはまるもの一つに)

- 1 . リユースしたい
- 2 . リユースしたくない
- 3 . 分からない

問 4 ご回答者の属性について (当てはまるものに)

性別	女性	男性		
年齢	20 歳未満	20 ~ 39 歳	40 ~ 59 歳	60 歳以上

~ アンケートにご協力いただき、ありがとうございました ~
(お近くの係員にお渡してください)

(以上)